婦防だより（うつのみや）

第 66 号
発　行　日 平成２６年３月
編集・発行 宇都宮市消防本部予防課
事務局☎６２５―５５０５
〒320-0014
宇都宮市大曽2丁目2番21号

消すまでは　心の警報　ONのまま

平成 26 年 1 月 5 日（日）　大通り　二荒山神社前にて

『もう，設置しましたか？

住宅用火災警報器！』

平成21年6月1日から，

全ての住宅に設置が義務付けられました。

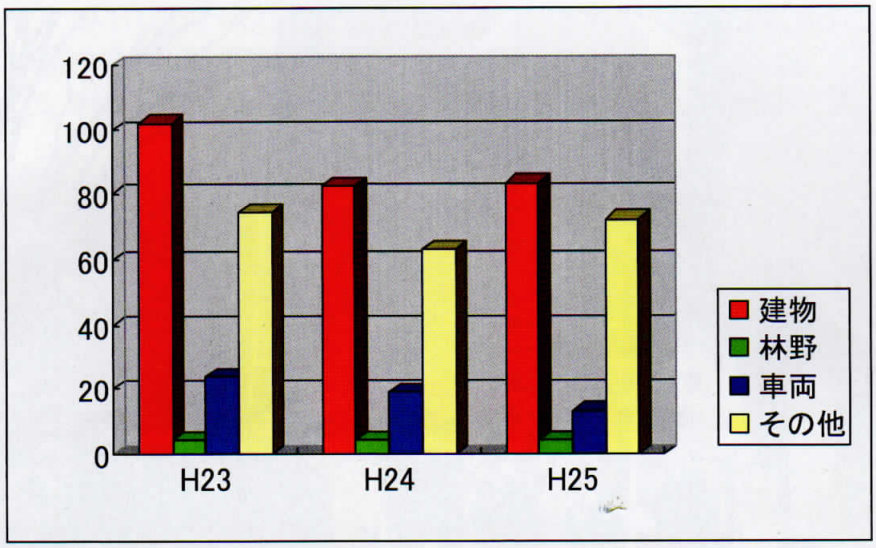
備えて愉快だ宇都宮 UTSUNOMIYA

平成２５年中の火災の状況

■火災件数は１７２件

平成25年中に宇都宮市内で発生した火災は172件で、前年より４件増加し、損害見積額は１億6,570万６千円で243万７千円減少しました。火災種別では、「建物火災」が83件と最も多く、次いで「その他の火災」、「車両火災」の順と例年並みでありました。

火災種別件数



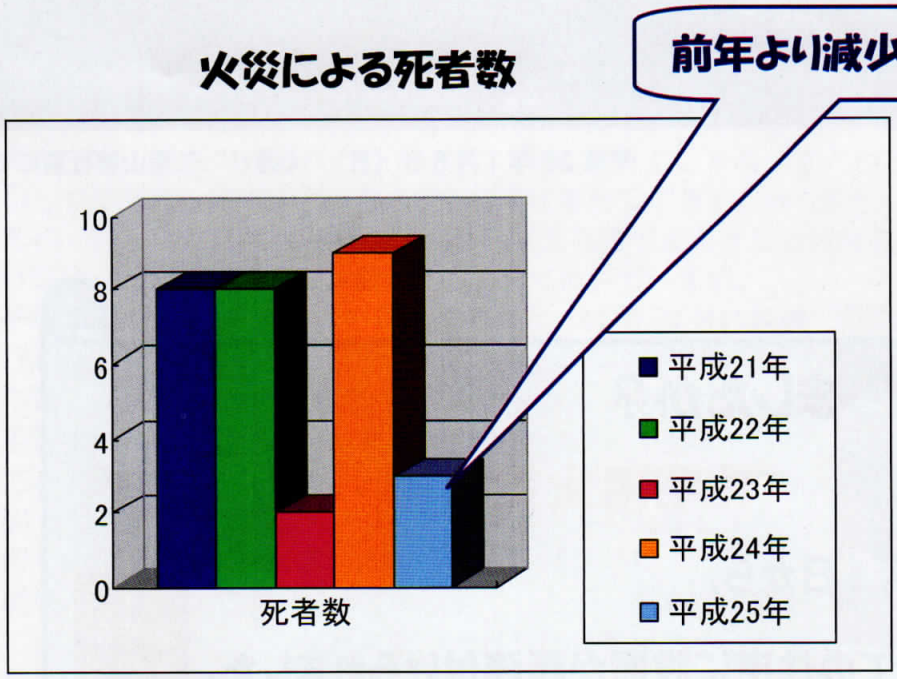
火災別件数（平成２５年）

建 物 火 災	８３件
林 野 火 災	４件
車 両 火 災	１３件
その他の火災	７２件

■火災による死者は３人

平成25年中に火災による死者は３人で、前年より６人減少しました。

火災による死者数



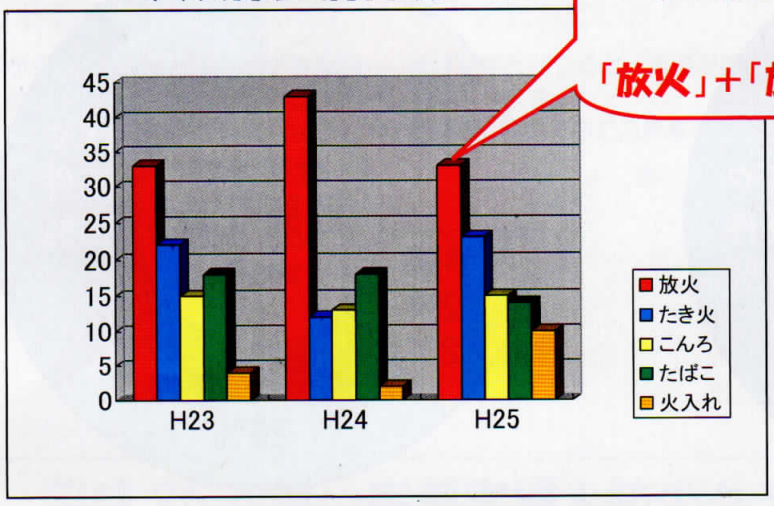
逃げ遅れによる死者数
（ ）は死者数全体に対する割合

平成２１年	１人（ 13%）
平成２２年	３人（ 38%）
平成２３年	０人（ 0%）
平成２４年	４人（ 44%）
平成２５年	０人（ 0%）

■　出火原因別にみる火災の状況

出火原因別にみると、「放火」が33件で最も多く、次いで「たき火」、「こんろ」、「たばこ」、「火入れ」の順となりました。「放火」と「放火の疑い」を合わせると39件で、全体の23%を占めています。

火災原因別件数



「放火」が，7年連続　1位

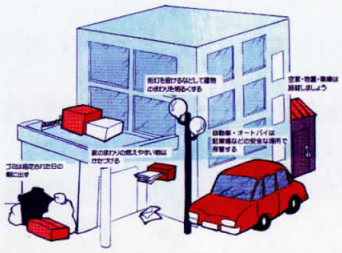
「放火」＋「放火の疑い」＝39件

原因別件数（平成２５年）

放　　火	３３件
た　き　火	２３件
こ　ん　ろ	１５件
た　ば　こ	１４件
火　入　れ	１０件

◎放火防止五か条を実践しましょう！

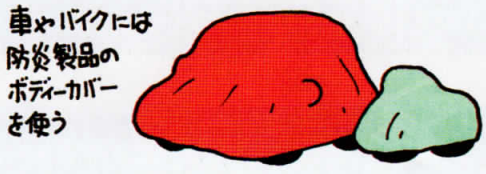
①家の周りには、燃えやすいものを
置かないようにしましょう。
（ごみは、指定された日の朝に出しましょう）



②夜間、建物の周囲や駐車場は
照明を点灯して明るくしましょう。
（死角をなくしましょう）

③物置、車庫にはカギをかけましょう。
（戸締りは忘れずにしましょう）

物置・車庫には鍵を



④車やバイクなどのボディカバーは、
燃えにくいものを使いましょう。
（防炎製品を使いましょう）

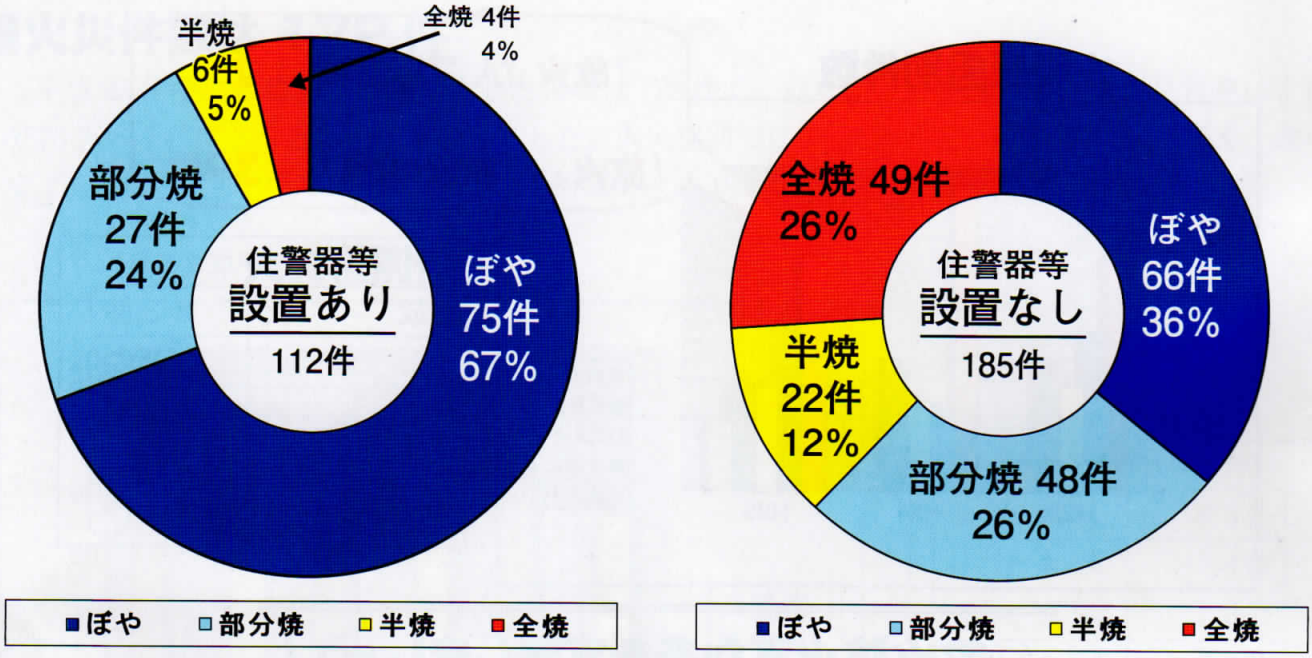
⑤地域ぐるみで放火防止に、
取り組みましょう。
（防火の見回りをしましょう）

地域ぐるみで
放火防止に
取り組みましょう

☆放火から，大切な命や財産を守りましょう！！

住宅用火災警報器の設置による効果

【宇都宮市、平成21～25年、住宅火災297件（爆発火災1件を除く。）について】



「設置あり」の場合は、91%が「ぼや」又「部分焼」であるなど、「設置なし」の場合と比較して、焼損は大きく軽減されています。

住宅用火災警報器の奏功事例

【事例1】
平成24年5月　一般住宅
鍋をガスこんろにかけたまま外出したため、鍋の内容物が焦げたが、隣人が警報音に気づき「火災にならず」に済んだ。

【事例2】
平成24年11月　一般住宅
寝室で就寝中、台所の蛍光灯が短絡により出火したが、警報音で目が覚め、バケツで水をかけ初期消火、「ぼや」で済んだ。

【事例3】
平成25年6月　一般住宅
ガスこんろで調理中、その場を離れたため出火したが、警報音で気付き、濡れタオルで初期消火、「ぼや」で済んだ。

命を守るために　一日も早く　住宅用火災警報器を設置しましょう！

住宅用火災警報器を取り付けたそのあとは

※全ての住宅に「住宅用火災警報器」の設置が義務付けられています。

点検1 定期的に作動点検をしましょう

本体から下がっている引きひもを引く，あるいはボタンを押すなどにより，定期的に作動点検をしましょう。

点検2 住宅用火災警報器がよごれていたら

ホコリなどがつくと，火災を感知しにくくなります。
定期的に乾いた布でふき取りましょう。

点検3 電池交換を忘れずに

電池が切れそうになった時，音や光で知らせてくれる機能を有しています。忘れず，電池交換を行いましょう。

※電池寿命は，メーカーや機種によって異なります。なお，最新機種の多くは，電池寿命10年（通常の使用状態）です。また，本体も，センサー等の寿命により交換が必要になる場合があります。
詳しくは取扱説明書を確認してください。

平成25年度　宇都宮婦人防火クラブ連合会事業報告

■ 総　会

平成25年５月17日（金）

宇都宮市東消防署において、当会の顧問である宇都宮市長をはじめ多数の方々のご出席をいただき開催しました。

また、総会の席上、役員改選が行われ、新四役が次のように決まりました。

【宇都宮婦人防火クラブ連合会　四役】

会　長	浅野　まさ（宝　木）		
副会長	中川香寿栄（今　泉）	副会長	杵渕　節子（簗　瀬）
会　計	山口　佳代（姿　川）	会　計	蕪木カツイ（泉が丘）
書　記	大関佐和子（陽　光）	書　記	中村　正子（豊　郷）
監　事	岡田　好枝（横　川）	監　事	石川　敏子（宮の原）

※ 退任された各地区会長には、感謝状が贈られました。

今井　キヨ 様（桜）、脇島悦美 様（篠井）、中野良子 様（城東）、新村悦子 様（戸祭）
竹原由美子 様（富屋）、池田伝江 様（西原）、郷間サヨ子 様（平石）、鈴木悦子 様（御幸ヶ原）

■ 役員管外視察研修

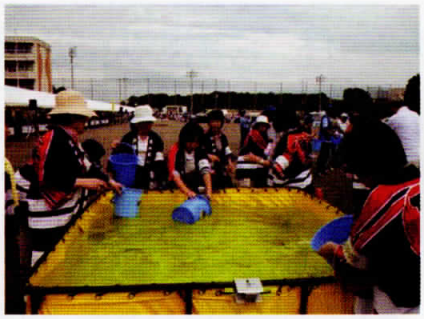
平成25年６月30日（日）～７月１日（月）

防火・防災意識の高揚と連合会役員相互の親睦を目的に、新潟県小千谷市の「おぢや防災ミュージアムそなえ館」や新潟市の「新潟防災センター」などを訪れ、地震に関する専門的な知識を学んだほか、被災から復興までの足跡たどるなど、防災対策をテーマにした研修を行いました。

■ 宇都宮市総合防災訓練

平成25年８月24日（土）

宇都宮市立清原中学校において、平成25年度宇都宮市総合防災訓練が行われ、自主防災会の方々とともに、バケツリレー消火訓練や炊き出し訓練を実施しました。



■ 消防学校一日入校

平成25年10月12日（土）

楽しみながら防火・防災の知識や技術を習得することを目的として、消防学校一日入校を実施し、婦人防火クラブ員171名が幼年消防クラブ指導者や少年消防クラブ員らとともに、初期消火や応急手当等の実践的な体験と地震・大雨等の模擬体験をしました。

■ 消火競技会

平成25年11月13日（水）

戸祭町 競輪場駐車場において、宇都宮自衛消防協会及び宇都宮危険物保安協会との合同で開催し、各地区の代表者（２名）による消火器を用いた消火技術を競いました。

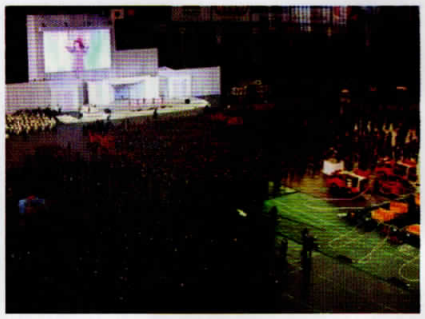
【競技結果】

第１位	瑞穂野地区婦人防火クラブ	金子　恵・田﨑　博美チーム
第２位	横川地区婦人防火クラブ	鷹觜　愛美・村田　千佳チーム
第３位	上河内地区婦人防火クラブ	桑名ひとみ・手塚　知チーム
第４位	昭和地区婦人防火クラブ	塚田せつ子・塚田恵美子チーム
第５位	戸祭地区婦人防火クラブ	上野　正子・植木百合子チーム

■ 管外視察研修

平成25年11月25日（月）

防火意識の高揚と各クラブ員相互の親睦を目的に、今年度は「消防団120年・自治体消防65周年記念大会」に参加し、消防の歴史をはじめ、消防関係者の強い団結をテーマにした研修を行いました。



■ 防火作品表彰式

平成26年２月６日（木）

消防本部において、平成25年度の防火作品表彰式を実施しました。

今年度は各地区婦人防火クラブ員から防火標語129点の応募があり、厳正なる審査の結果、21点の入選作品が決定しました。

【入　選　作　品】

・　警報器　火災を防ぐ　一つの手
・　消したかな　いつも心は　火の用心
・　火の用心　１人１人の　心がけ
・　ぼくの家　ついているかな？　警報器
・　めざそうよ　地域ぐるみの　防火体制
・　確かめて　消したつもりの　火の始末
・　防災は　隣近所の　連携で
・　わたしから　孫に伝える　火の用心
・　防災は　日々の暮らしの　そなえから
・　火の元は　目視で確認　ひと安心
・　出かけ前　指さし確認　一　二　三
・　確かめよ　止めたつもりの　ガスレンジ
・　消した火を　再度点検　確信へ
・　声を出し　あわてず確認　火の始末
・　寝る前に　ちょっと点検　ガスレンジ
・　見張り番　備えて安心　警報器
・　くりかえし　訓練参加　身につけよ
・　備蓄して　安心できる　自助共助
・　防災は　一人ひとりが　危機管理
・　警報器　静かに家の　守り神
・　自主防災　声掛けあって　地域の輪

泉が丘地区　蕪木カツイ
泉が丘地区　大橋祥子
今泉地区　佐藤明美
今泉地区　田村紀子
今泉地区　山崎美奈子
国本地区　三瓶陸子
桜地区　黒須貴子
桜地区　福田光子
桜地区　中臣敦子
桜地区　安納ハツエ
昭和地区　吉田美代子
宝木地区　斉藤敬枝
宝木地区　木村雪枝
豊郷地区　綱河和子
豊郷地区　岩下啓子
宮の原地区　川原順子
宮の原地区　本間悦子
宮の原地区　石川敏子
陽南地区　玉田幸子
横川地区　大嶋時子
横川地区　中谷友子

防火・防災活動

■　文化財防火デーに伴う消防訓練の実施

平成26年１月21日（火）

南大通り１丁目　天台宗善願寺において、文化財防火デーに伴う消防訓練が行われ、簗瀬地区婦人防火クラブ員が初期消火訓練に参加しました。

活動助成・資器材整備

■　幼年消防用活動資器材（鼓笛隊楽器）が「宝くじ」の助成で整備されました。

本市では、幼年消防クラブの活動活性化のために、㈶自治総合センターが行なう「地域防災組織育成助成事業」の助成を受け、幼年消防用活動資器材（鼓笛隊）購入を行っています。

本年度は、釜井台幼稚園幼年消防クラブに対して資器材の引渡しを行いました。

地区だより　戸祭地区・東地区

戸祭地区婦人防火クラブ

会長　巻島典子

戸祭地区は市中心部北東に位置し、古くから住宅地として栄えてきました。日光街道（桜通り）が地区を横断しており、県体育館をはじめ美術館・病院・学校など様々な施設があります。

婦人防火クラブには、地区約3600世帯全戸加入しており、18自治会から選出された理事30名が中心となって活動しております。今年はメンバーが大幅に入れ替わり、若い力も増え活躍が期待されています。

県体育館には耐震性貯水槽があり、地区で給水訓練も行われ、当クラブも炊き出し班として、非常食を担当しています。

9月29日に行われた地区防災訓練には、総勢約300名が参加し、宇都宮市西消防署、第1分団、第10分団の皆さんのご協力を得て、防災資機材取扱い・救出救護・応急手当・水防工法砂のう作成などいろいろな訓練を行い、地域の方々の連携と防災意識の高揚を図りました。当クラブも炊き出し訓練を実施し、カレーライスを調理して訓練参加者に非常食として試食していただきました。クラブ員の協力で手早く作業を終え、非常食の割にはおいしいと好評でした。

また、戸祭フェスタでも炊き出し訓練を兼ねて、おにぎり作りをして協力しました。

近年、火災の他にも地震、雷、集中豪雨、大型台風、竜巻など私達の想像をはるかに超えた自然災害が頻繁に起こるようになりました。これらの災害に対する「備え」と護身法など、防火・防災の啓発を活発に行う必要性をより感じております。また、地域にも独居世帯、高齢者世帯が増えてきているのが現状です。これらに対し、当クラブがどんなことができるか模索しているところです。

地区防災会をはじめ地域の方々と協力しながら、皆が安心して暮らせるまちをめざし、当クラブも活動していきたいと思います。

防災訓練時の炊き出しの様子

東地区婦人防火クラブ

会長　岩瀬敦子

東地区婦人防火クラブは、宇都宮市でいちばん最初に出来たと聞いています。

全戸加入でもあり、活発な活動をしている……と言いたいのですが、残念なことに少し違っています。高齢者が市内で最多数であるという地域的な環境もあって、実働人数は極端に少ないのです。

何とかして行事に参加して下さる方を増やしたいと、自治会でも協力して下さってあらゆる努力をしてみてはいるのですが、なかなか上手くいきません。

それでも、映画の題名みたいですが、「七人の侍」ならぬ「五人の侍」とでも言える方々がしっかり協力してくださっています。すべての行事に参加して頂き、申し訳ない気分です。

年に一回、自主防災会と婦人防火クラブが共同で東小学校の校庭をお借りして開催する「防災訓練」だけには、特別に何人かにお願いをして出て頂いています。

平成25年度も中央消防署のご協力のもと、11月24日に訓練が行われました。

例年は1人前ずつのアルファ米とインスタントみそ汁を参加者に手渡すのが婦人防火クラブの仕事なのですが、今回は少し変えてみようということになりました。

50人分のアルファ米と具の入ったダンボールにお湯を注いで密閉し、20分待ってパックに取り分ける、消防学校1日入校でお馴染みの非常食です。初めての経験でしたが、熱心に作業をして下さいました。もし災害に遭った場合には訓練でやったことを思い出して役立ててほしいものです。

防災訓練時の炊き出しの様子

※ 次回寄稿予定は、富屋地区と西原地区になります。

R100
古紙配合率100%再生紙を使用しています